

秩父市



市の概要

秩父市は、埼玉県北西部、秩父地域の中心市で、東京都心部から60～80km圏内に位置しています。昭和25年、県下7番目の市として誕生、平成17年4月には吉田町、荒川村、大滝村と合併し、新「秩父市」となりました。

秩父市の市域は、総面積が577.83km²と埼玉県内で最も広く、県全体の約15%を占めています。甲武信ヶ岳に源を発した荒川が市の中心部を流れ、その両岸に河岸段丘を形成しています。市の南東にそびえる武甲山では石灰石を産出し、露天掘りが行われています。

秩父市のデータ

面積	577.83km ² (R5.10.1)
人口	58,474人(R5.10.1)
世帯数	26,215世帯(R5.10.1)
事業所数	3,380事業所(R3経済センサス)
従業員数	26,910人(R3経済センサス)
製造品出荷額等	125,762百万円(R2) (RESAS 地域経済分析システム)

秩父市の産業

古くから林業、繊維工業で栄えた地域で、高度経済成長期にはセメント製造が盛んになり、秩父地域が発展してきました。RESAS 地域経済分析システム(R2)の製造品出荷額等では、化学工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、業務用機械器具製造業、金属製品製造業の順に出荷額が大きくなっています。

主な立地企業(順不同)

キヤノン電子(株)、(株)レゾナック、昭和電工(株)、アルバック成膜(株)、(株)タイセー、(株)埼玉富士、(株)シバサキ、(株)ウッディーコイケ、(株)グラフィートデザイン、秩父電子(株)、(株)中川機器製作所、秩父太平洋セメント(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、(株)オプナス

産業用地

秩父市ホームページで公開している空き工場・空き用地のデータベース(<https://www.city.chichibu.lg.jp/3723.html>)のほか、ご希望の条件に適した物件をご紹介します。



地域資源

毎年12月2,3日に行われる日本三大曳山祭の一つであり、平成28年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された「秩父夜祭」、一面にピンクや白の花が咲き誇る羊山公園「芝桜の丘」、34か所の秩父観音札所が有名で、一年を通じて観光客で賑わいます。